

住宅建設技能者の持続的確保に向けた 中長期ビジョン策定検討委員会の 設置経緯と検討の進め方

国土交通省住宅局

住宅分野における建設技能者の持続的確保懇談会(担い手懇談会)

- 脱炭素、まちづくり、子育て支援、Well-being、災害発生時の被災者の住まいの確保等社会的要請や消費者ニーズの観点から、**住まいに求められる性能が上がっており、住まいを供給する建設技能者の担う役割も増加。一方で、大工等の担い手不足から、今後、住宅の安定的な供給・適切な維持管理が困難となる懸念。**
- 将来にわたって我が国の住まい供給・維持管理の担い手である住宅分野の建設技能者を持続的に確保することにより、**質の高い住まいが安定的に供給され、適切に維持管理が行われる社会**に向けて、「**住宅建設技能者**」に焦点をあて、**有識者・関係団体等から幅広くご意見を伺うため、「住宅分野における建設技能者の持続的確保懇談会」を開催。**
- 令和7年10月に住宅建設技能者の持続的確保に向けた**課題と検討の視点、方向性をとりまとめ、公表。**

時期・検討内容

第1回(令和7年2月5日)

- ・現状分析、住宅生産にかかわる担い手の区分について議論 等

第2回(令和7年4月28日)

- ・住宅建設技能者に係るアンケート調査結果(速報)の報告
- ・新規入職者確保に向けた職場環境整備についての議論 等

第3回(令和7年6月18日)

- ・新規入職者確保に向けた将来見通しの整備についての議論 等

第4回(令和7年8月6日)

- ・住宅建設技能者に係るアンケート調査結果の報告
- ・大工の減少における地域差に係る分析結果の報告
- ・とりまとめ骨子についての議論 等

第5回(令和7年9月5日)

- ・とりまとめ(案)についての議論

懇談会とりまとめ公表(令和7年10月31日)

※ 令和7年11月公表の住生活基本計画に係る社会資本整備審議会住宅地分科会の中間とりまとめへ反映



第1回懇談会の開催状況

委員名簿(敬称略)

座長	蟹澤 宏剛	芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授
	金多 隆	京都大学工学研究科建築学専攻 教授
	神田 雅子	東京建築高等職業訓練校 講師
	権藤 智之	東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 准教授
	櫻井 好美	社会保険労務士法人アスミル 代表
	三浦 祐成	株式会社新建新聞社 代表取締役社長
	盛原 志帆	広島市立広島工業高等学校建築科 実習教諭
	五十嵐 賢博	(一社)日本ログハウス協会 技術委員長
	青木 富三雄	(一社)住宅生産団体連合会 環境部長兼建設安全部長
	五味 英俊	(一社)プレハブ建築協会 業務第二部長
	鈴木 保宏	(一社)日本木造住宅産業協会 生産技術部部長
	首藤 一弘	(一社)JBN・全国工務店協会 大工育成委員会委員
	高橋 健二	全国建設労働組合総連合 住宅対策部長
	中澤 佑介	(一社)全国住宅産業地域活性化協議会 理事
	松葉 晋平	全国建設労働組合総連合 技術対策部長
	吉田 祐二	(一社)日本ツーバイフォー建築協会 事業部長
	渡邊 健治	(一社)愛知県建設団体連合会 技術委員

【概要】住宅分野における建設技能者の持続的確保懇談会 とりまとめ

(R7.10)

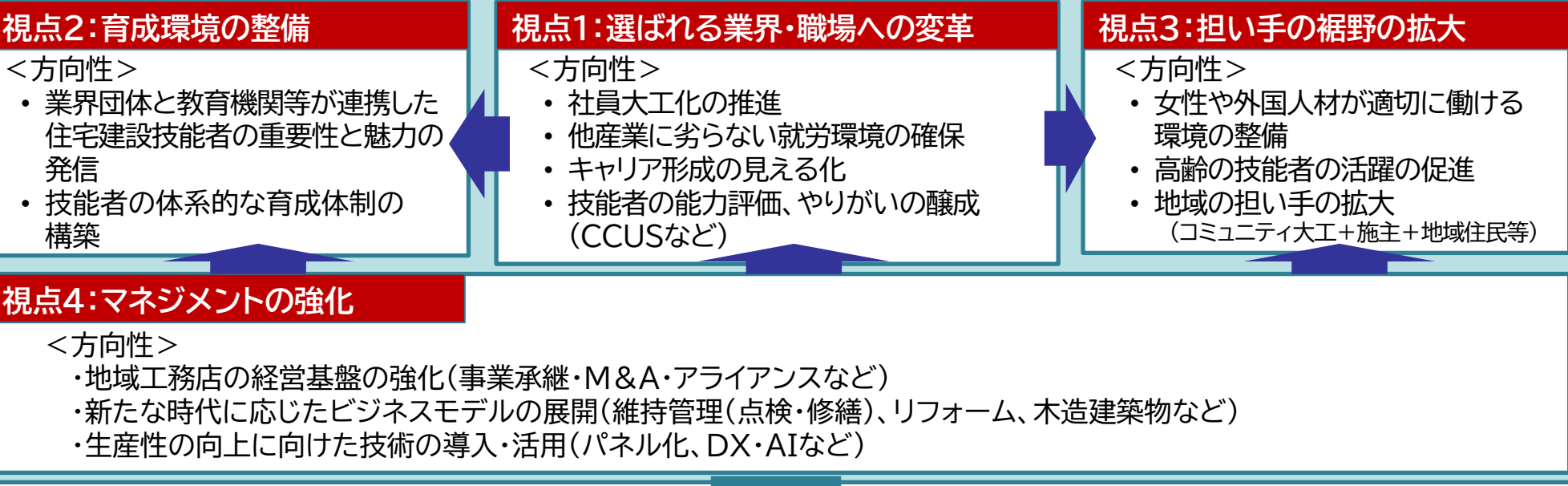
現状と今後の見通し

- ・減少・高齢化率の現状と将来予測(2000年→2020年→2035年)
大工就業者数:65万人→30万人→15万人
(建設全体:356万人→245万人→193万人)
大工就業者高齢化率(60歳以上):22%→40%→41%
(建設全体:7%→27%→35%)
- ・女性技能者の割合(R2時点):大工1.5%(建設全体2.7%)

課題

- ・他産業と比較して不安定かつ不十分な就労環境
- ・技能の継承の難しさと教え手の不足
- ・学生、学校、保護者からの仕事の見えにくさ
- ・女性が働くのが難しい職場環境(トイレ・更衣室 等)
- ・中小の個社による雇用・教育体制の確保の難しさ 等

検討の視点と方向性



【実現したい社会】

他産業に劣らない就労環境の下、住宅分野の建設技能者が確保され、
結果として、質の高い住まいの安定的な供給と適切な維持管理・更新が行われる社会

➡ 今後、住宅分野の担い手確保に向けて官民で連携して取り組むための中長期ビジョンを策定

- ・ 担い手懇談会とりまとめの記載に基づき、令和7年11月公表の「住生活基本計画(全国計画)(素案)」に、担い手確保・育成の内容を記載。

住生活基本計画(全国計画)(素案) 令和7年11月(抜粋)

(3)「住まいを支えるプレイヤー」の視点

目標10 担い手の確保・育成や海外展開を通じた住生活産業の発展

2050年に目指す住生活の姿

- 住宅建設技能者や建築士等の専門家による質の高い住まいの安定的な供給と、専門家を含む幅広い担い手による住まいの適切な維持管理・更新が継続的に実施される

基本的な施策 ※当面 10 年で取り組む施策の方向性(○)、施策例(・)

(担い手の確保・育成)

- **住宅建設技能者の持続的確保に向けた中長期的なビジョンの策定**及びそれに基づく取組の推進
 - ・ 住宅建設技能者の社員大工化の促進、育成環境の構築、女性技能者等の担い手の拡大及びそれを支える工務店のマネジメント強化等に関する検討
 - ・ 住宅建設技能者への理解や入職・定着の促進
 - ・ 住宅建設技能者の技能の見える化や処遇改善の促進
- 持続可能な建設業の実現に向けた取組の推進
 - ・ 技能者の処遇改善と技能向上を図るための一人親方等への対策
 - ・ 女性・外国人をはじめとする多様な人材の活躍に向けた魅力ある職場づくりにつながる取組の推進
 - ・ 発注者への適正な工期設定の促進等による住宅建設技能者の働き方改革の推進
 - ・ 建設キャリアアップシステムの普及・拡大

担い手中長期ビジョンの目的

担い手懇談会 とりまとめ

住宅建設技能者の持続的確保に向けた課題と検討の視点、方向性を取りまとめ

住宅建設技能者の持続的確保に向けた中長期ビジョン(仮称) (担い手中長期ビジョン)

住宅分野の担い手確保に向けて官民で連携して取り組むための

将来像

住宅生産分野の関係者が共有する
住宅生産技能者を取りまく将来像



取組

将来像に向けて住宅生産分野の
関係者が行う取組

【実現したい社会】

他産業に劣らない就労環境の下、住宅分野の建設技能者が確保され、
結果として、質の高い住まいの安定的な供給と適切な維持管理・更新が行われる社会

担い手中長期ビジョンの検討体制(案)

住宅建設技能者の持続的確保に向けた中長期ビジョン策定検討委員会 (担い手中長期ビジョン)

- 担い手中長期ビジョンの全体的な方向性について議論
- 委員長: 蟹澤 宏剛 芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授
- 構成員: 有識者、業界団体



社員大工化促進ワーキンググループ(WG)

- 担い手懇談会の視点1, 4を対象に、事例ヒアリング・意見交換等を行い、具体的な将来像と取組について議論
- 構成員: 有識者、業界団体、関係省庁

人材確保・育成ワーキンググループ(WG)

- 担い手懇談会の視点2, 3を対象に、事例ヒアリング・意見交換等を行い、具体的な将来像と取組について議論
- 構成員: 有識者、業界団体、関係省庁

担い手中長期ビジョン(仮称)策定のスケジュール(案)

R7年度						R8年度						
10月>>11月>>12月>>1月>>2月>>3月						4月>>5月>>6月～3月						
開催時期	<div>担い手懇談会とりまとめ</div> <div>担い手中長期ビジョン策定検討委員会★ 第1回 12月24日</div> <div>社員大工化促進WG★ 第1回 1月26日 第2回 2月18日</div> <div>人材確保・育成WG★ 第1回 1月13日 第2回 2月16日</div>						<div>★ 第2回 6月初旬</div> <div>★ 第3回 4月下旬</div> <div>★ 第4回 5月中下旬</div> <div>★ 第3回 5月上旬</div> <div>★ 第4回 5月下旬</div> <div>担い手中長期ビジョン（仮称）のたたき台</div> <div>担い手中長期ビジョン（仮称）策定</div>					
議題・テーマ	担い手中長期ビジョン策定検討委員会		【第1回】 ・ キックオフ ・ 担い手中長期ビジョン（仮）に記載する大まかな内容の方向付け				【第2回】 ・ WGの報告 ・ ビジョンたたき台の議論				R8年度中に策定	
	社員大工化促進WG		【第1回】インプット① ・ 懇談会の振り返り ・ WGの進め方 ・ 関連する制度の説明（雇用支援、資格制度）等		【第2回】インプット②・論点整理① ・ 事例ヒア（社員大工化、就労改善） ・ 社員大工化の取組状況、現状のキャリアパスの整理等		【第3回】インプット③・論点整理② ・ 事例ヒア（マネジメント強化） ・ マネジメント強化事例の横展開に向けた論点整理等		【第4回】論点整理③ ・ 選ばれる業界・職場への変革に向けた課題と取組 ・ マネジメント強化に向けた課題と取組等			
	人材確保・育成WG		【第1回】インプット① ・ 懇談会の振り返り ・ WGの進め方 ・ 関連する制度の説明（教育訓練、育成就労等）等		【第2回】インプット② ・ 事例ヒア（教育機関等との連携、裾野拡大） ・ 現状の入職ルートの整理等		【第3回】論点整理① ・ 業界と教育機関等の連携にかかる論点整理 ・ 業界一体となった育成体制にかかる論点整理等		【第4回】論点整理② ・ 連携手法、教材・育成プラン等の検討体制と取組 ・ 裾野拡大に向けた各種検討体制と取組等			